

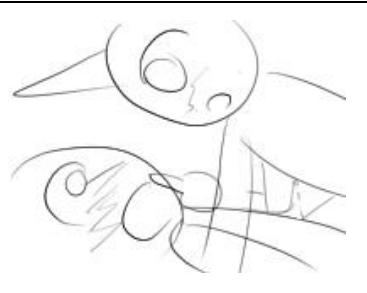

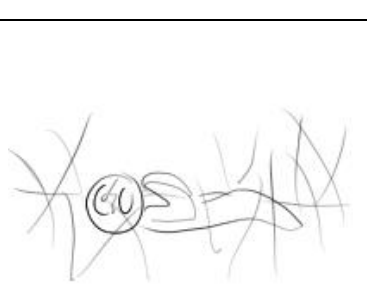






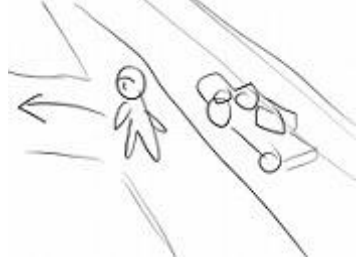
場面：夢中託宣

番号	画面	内容・台詞	時間
1		白光に包まれた花咲く野原。 小学生の男の子入間川たける（7）が、寝転がっている。	
2		たけるの傍らに、可憐な童女姿の鬼神花吹雪のお凜（9）が現れ、ちょこんと座って微笑む。	
3		たける「君は……」	
4		お凜様「おぬし、わしと縁を結ばんか？」	
5		お凜様がたけるに顔を近づける。 たける「ちょっ……」 たけるが動揺する。	






場面：夢中託宣

番号	画面	内容・台詞	時間
6		お凜様「わしが嫌いか？」	
7		たける「あ、あの……」 たけるの鼓動が高鳴る。	
8		お凜様「毎日山中の祠に通い、『鬼は内福も内』と10回、『オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ』と10回唱えよ」	
9		お凜様が、口元に人差し指を立てて「内緒」の仕草をする。	
10		お凜様が姿を消す。 たけるが興奮して寝転がっている。	






場面：鬼は内福も内

番号	画面	内容・台詞	時間
1		山麓の市街地の遠景。 商業施設や住宅地、学校が見える。 字幕「武州入間地方」	
2		小学校の遠景。 終業鈴が鳴っている。 下校中の子供達。	
3		里山が間近に見える通学路。 下校中のたけるが歩いている。	
4		たけるがまっすぐ歩いていく。	
5		たけるが里山に続く道に入っていく。	

場面：鬼は内福も内

番号	画面	内容・台詞	時間
6		小学生の女の子広瀬かな（6）が、たけるを見かける。	
7		里山の中の祠。何を祀った祠かわからない。	
8		たけるが歩いてくる。	
9		たけるが祠の前で立ち止まる。	
10		たけるが学帽を脱ぎ、賽銭を入れ、鈴を鳴らす。	




場面：鬼は内福も内

番号	画面	内容・台詞	時間
11		たけるが二礼二拍手する。	
12		たけるが必死の形相で祈願する。 たける「鬼は内福も内、鬼は内福も内、鬼は内福も内、鬼は内福も内、鬼は内福も内……」	
13		たける「鬼は内福も内、鬼は内福も内、鬼は内福も内、鬼は内福も内、鬼は内福も内……」	
14		たける「オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ、オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ、オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ、オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ、オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ……」	
15		たける「オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ、オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ、オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ、オン・オニコロヤ・ハナヒラ・リンリン・ソワカ……」	

場面：鬼は内福も内

番号	画面	内容・台詞	時間
16		たけるが一礼する。	
17		たけるが祠を後にして歩き出す。	
18		参道の向こうからかんなが歩いてくる。 かんな「たける君！」 たける「かんなちゃん！」	
19		たける「どうしたの、こんなところで」 かんな「それはこっちが言うことよ」	
20		かんなは祠を見る。 かんな「お願い事？」 たける「まあね」 かんな「縁結び？」 たける「違うよっ」	

場面：鬼は内福も内

番号	画面	内容・台詞	時間
26		かな「慌てるのが怪しい〜」 たける「なんで嬉しそうなの？」 かな「内緒！」	
27		かな「一緒に帰ろ！」	
28		たける「うん」	
29		かながたけるの手を取って引っ張っていく。	
30		たけるは恥ずかしそうにかなと歩いていく。	

場面：鬼は内福も内

番号	画面	内容・台詞	時間
31		通学路。 たけるとかんなが戻ってくると、小学生の男の子笹井きりお（6）がいる。	
32		きりお「たける君」 たける「きりお君」	
33		きりお「手繋いでる」 たける「あっ！」 たけるは慌ててかんなの手を離す。 かんなは不満そう。	
34		きりお「山の中で何してたの？」 かんな「内緒！」 きりお「まあいいか……」	
35		たける達が歩いていく。	

場面：鬼は内福も内

番号	画面	内容・台詞	時間
36		たける達が歩いていると、向こうに上級生のいじめっ子藤沢やすお（10）と取り巻き連中がたむろしている。 たける「あいつら……」	
37		やすお「おう、鬼！ ちょうどいいところに来たな！ 鬼ごっこに付き合え！」	
38		たける「誰がお前らなんかと！」	
39		やすお「なんだその態度は！」	
40		やすお「鬼のくせに断れると思ってんのか？ 明日から学校が楽しくなるぞ。いいのか？」 たける達はやすおの取り巻き連中に囲まれる。	